

令和6年度

宮津市教育フォーラム
コミュニケーション教育研究モデル校
宮津学院の実践

宮津市立宮津小学校 大松 紗矢香
宮津市立宮津中学校 小田 雄紀



コミュニケーション教育とは

社会の変化と子どもたちに求められる能力

- 21世紀は、グローバル化が一層進む時代。
- 多様な価値観の中、正解のない課題や、経験したことのない課題を解決する場面に出合う子どもたち。
- 求められるのは、
 - ⇒自己を確立しながら他者を受容して、協力・協働する個人。
 - ⇒ともに課題を解決し、新たな価値を生み出しながら社会に貢献する個人。





コミュニケーション教育とは

宮津市が進めるコミュニケーション教育

教育活動

授業・遊び・日々の活動



演劇的手法

ワークショッププログラム



チームワーク

集中力

発想力

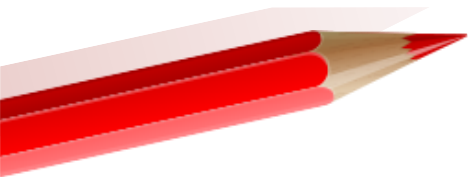
忍耐力

やり遂げる力

メタ認知



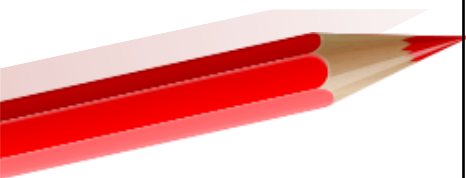
グローバルコミュニケーション
スキルの獲得を見据え、性別や
年代を超えて、**対等な関係の中
で自分を主張し、他者を理解で
きるコミュニケーション能力の
育成を目指す。**



宮津市のコミュニケーション教育
指導計画



指導区分	前期 就学前・小１～小４	中期 小５～中１	後期 中２・中３
各指導区分における目指す学びの姿	『好きになる』 『やってみる』 『聴ける』子 ・興味を持つ、疑問を持つ、考えを持つ。 ・自分で試す、自分で決める、仲間と話し合う。	『つながり』を伝えることを意識できる子 ・話し合って考え、決める。 ・他者と協働して課題解決を目指す。	『責任と可能性』を自覚する子 ・誰にどう伝えるのかを意識する。 ・協働的な活動を創り出す。 ・対話を楽しむことができる。

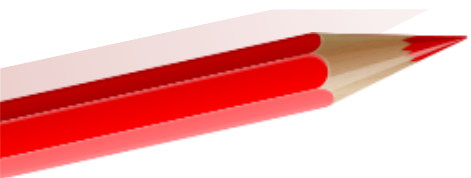


指導内容 1



全教育活動において、以下の4つの視点をもって
コミュニケーション能力を育成する。

- ①他者を理解すること
- ②自己を見つめること
- ③他者と協働すること
- ④表現活動（対話やディスカッション、身体表現）
を取り入れ課題に取り組むこと



指導内容 2

小学校6年生と中学校1年生において、**演劇的手法**を取り入れたワークショップ型・双方向型のアクティブラーニングを実施する。



芸術文化観光専門職大学 学長
青年団主宰。江原河畔劇場総監督
平田オリザ氏



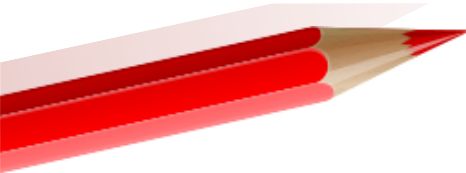
一般社団法人江原河畔劇場 代表理事
劇団青年団 俳優
村井まどか氏

各校の実践について





宮津市立宮津小学校



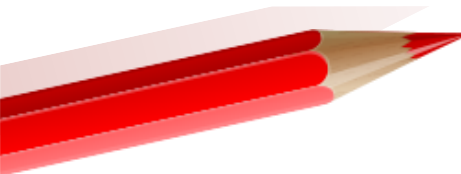
小学校のアプローチ



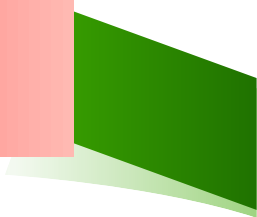
- ・自分のことを伝える
- ・友だちのことを聴く

+

違いを知り、一緒に楽しむ



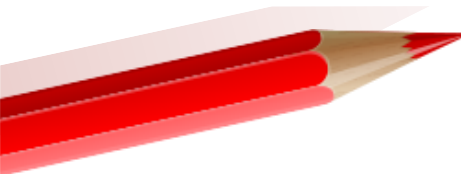
PBL（課題解決型学習）
つながりたいむ





研究主題

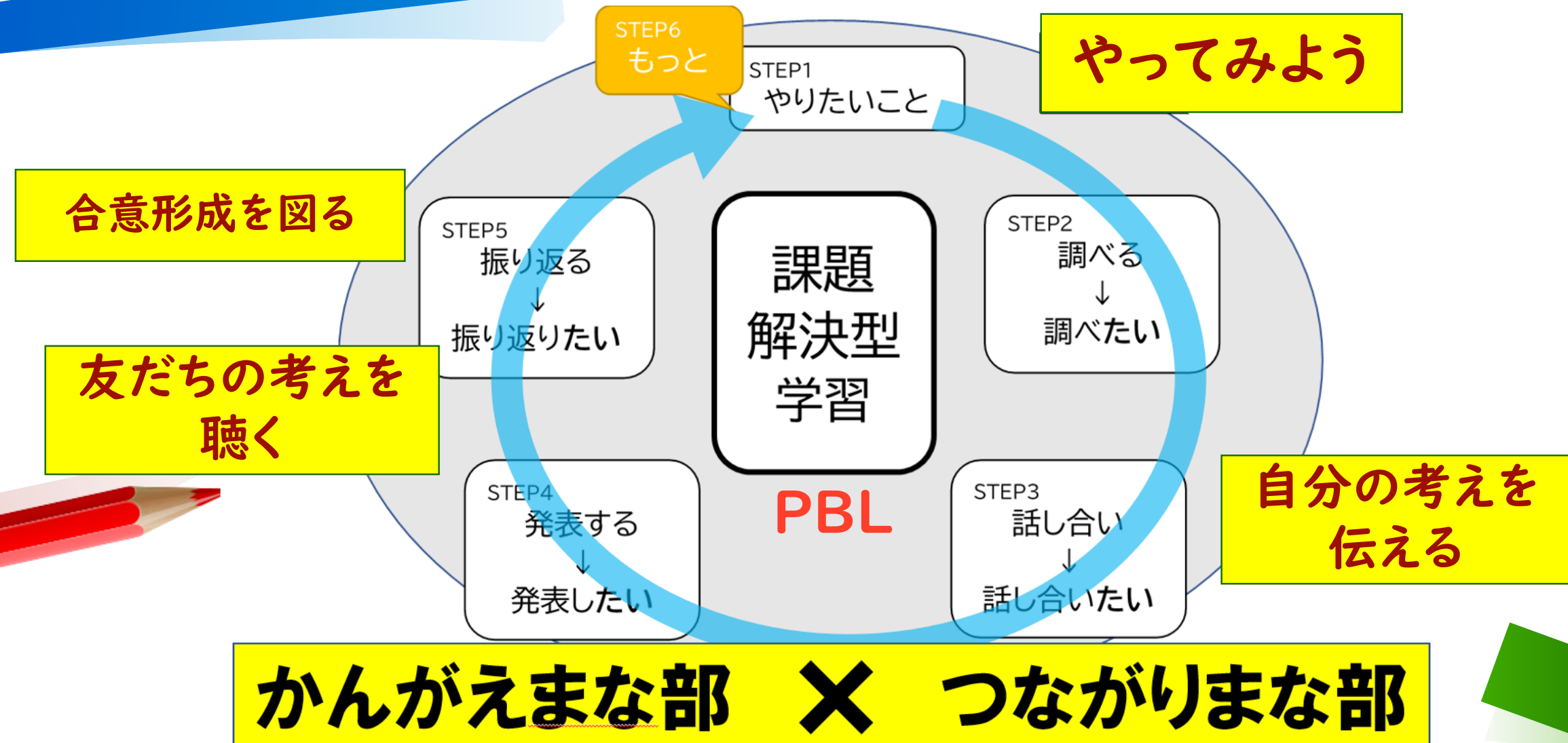
学びたいことに
「気づき・取り組み・表現できる」児童の育成
～人とつながりながら主体的に考え行動する児童の育成～



コミュニケーション × 課題解決



重点研究イメージ



日々の授業で

自分の考えを
伝える



友達の考えを
聴く

違いを知る

合意形成を
図る

日々の授業で

対話をする際の 手引きを教室に 掲示

授業中、どんどん友達と対話をしてつながろう！

自分の考えをもつ

まずは考えを
しっかりもとう。

STEP 1



考えを伝える

「私は…だと思います。なぜなら～だからです。」
「〇〇について、私は…と考えます。理由は、～からです。」
「私の考えでは、…ではないでしょうか。」

伝える

STEP 2



同意する・付け足す

「〇〇さんの考えに賛成です。さらに、…と思います。」
「私も同じ考えです。そして、…」
「その通りだと思います。さらに…」
「〇〇さんの意見に付け加えて、…も考えられると思います。」

広げる

STEP 3



質問する・確かめる

「〇〇について、もう少し詳しく教えてください。」
「具体的にはどんな例がありますか？」
「もう一度説明してくれませんか。」
「それはどういう意味ですか？」
「今の意見は…ということですね。」
「…ということ合っていますか？」

深める

STEP 4



ちがう考えを伝える

「〇〇について、べつの見方もあると思います。」
「でも、…と考えることもできませんか。」
「私はちがう意見です。それは…です。なぜなら～からです。」
「べつの視点から見ると、そうではなくて…だと思います。」

考えを再構築する

もう一度考えを書く、
振り返りを書く、など。

考えを伝えるときは、理由も合わせて！

なぜなら、…からです。
理由は、…からです。

わけは、…からです。
だって、…からです。

つながりたいお

毎週火曜 スキルタイム10分間

+

毎月 第3週の1時間

- ・コミュニケーションゲーム
- ・合意形成の対話ゲーム
- ・身体表現活動



違いを知る



合意形成を
図る





外部講師による授業

小学校



演劇的手法を用いたプログラム





演劇的手法を用いたプログラム

児童の感想より

- ・ 普段話さない人ともいっばい話すことができた。
- ・ みんなで協力できたから楽しかった。
- ・ いつも仲いい人とだけ遊んでいたけど、あまり知らない人たちとも遊ぼうかなと思った。



コミュニケーションの楽しさを実感



演劇的手法を用いたプログラム

児童の感想より

- ・自分の意見をどう反映させるかをすごく考えることができた。
- ・お題を言われて15分間で考えて話し合うことができて、正直できるかわからなかったけど演じきれてすごいと思った。



合意形成の経験、達成感



演劇的手法を用いたプログラム

児童の感想より

- ・決められた時間の中で、どうすれば見ている人が楽しめるかを考えて、よい発表ができた。
- ・みんなで協力して、時間を有効に使えるように分担して工夫すると、意外と時間内に完成させることができた。今後に生かしたい。



タイムマネジメントの重要性に気付く

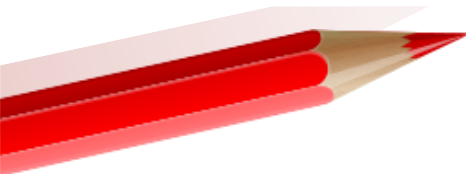


子どもたちの姿





宮津市立宮津中学校



中学校のアプローチ

- 
- ・合意形成を図る
 - ・発表の場をつくる

+

「見る・見られる」の環境をつくる



「教科・総合・特活」
を総合的に活用



具体的実践： 「授業づくり」

読売新聞東京本社
記者 上田詔子様
講演会
「伝えるという仕事」

①継続力

どんなに好きなことでも毎日コツ
コツと続けるのは簡単ではない

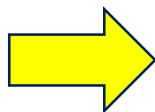
②ペアで頑張る

自分だけでやってみる、「どうせ
私なんか英語ができない…」を
繰り返すと、せっかくのモチベー
ションが保てない

③楽しむ

上達の近道で
一番重要！

英語の
極意



対話



進路・未来 2024年(令和6年)1月5日 繋がりが.commu 新聞

(準△種郵便物認可)

宮津市立宮津中学校
文責:杉本 学

あゆみ

導入

英語で挨拶をしたあと、日本語の意味が分かっている内容について1分間リーディングをする。できるだけ速く、正確に読めるようにし、毎授業で回数をメモリし、記録に残すことも。「ゲーム感覚」で、昨日の自分に勝てるようにしています。その後、基礎となる新出単語をペアと音読練習。これも90秒の制限時間付き。ペアに迷惑をかけないよう、お題を出す人も集中して取り組んでいます

展開

本文の内容に入る前に、間違えた質問を友達に聞いた。答えたりします。もちろんこれもペアで。なんて言えばよいか分からないときに頼りになるのが友達。間違えた表現でも伝わったときは、気持ちですっきりします

まとめ

本文の内容を学んだあとは、今回習った文法を動画で確認。そこに出てくる絵について、表現できるように答えます。できないときは、ヒントのキーワードを参考にしながら、取り組んでいます

ターニングポイント

ペア活動がきっかけ

始めは、英語を聞いて分かったときが嬉しかった。英語の勉強を続けると、聞いたり話したりして、やり取りができたときが嬉しくなりました。今では、自分の思いや考えを表現できたときが、一番楽しいです

自分の考えや思いを伝えることに自信

見た内容について、やり取りをする



学習の様子や生徒の感想を動画で見られます
このQRコードは、実際には読み込めません。ご注意ください

情報や考えを即座にやり取りしたり、相手の発言の内容を踏まえ、それに関連した質問や意見を述べたりしながら、会話を続けさせていくことが必要とされる現代の英語教育。「今」を生きている中学生は、このような力が求められています。これらの力を見取るためのパフォーミングテストになると、ただ単に覚えた内容を話す暗記型のテストではありません。目的・場面・状況が設定された中で、自分からどうするかについて、対話形式でテストを行うことになります。中学校に入ったら、まずアルファベットの練習。次に文法。「僕が習った英語はもう古いのか」と言いにくくなります(笑)

子ども達は、こんな時代だからこそ、自ら考えて前向きに行動することが大切で、毎授業で少しずつ話すための時間を作り、英語での会話に向けた練習をします。「友達とペアになって、何度も何度も練習した」「自分なりに習った文を使ったり、アイディアを工夫したりするなどの工夫ができた」と話します。

①継続力

どんなに好きなことでも毎日コツ
コツと続けるのは簡単ではない

②ペアで頑張る

自分だけでやってみる、「どうせ
私なんか英語ができない…」を
繰り返すと、せっかくのモチベー
ションが保てない

③楽しむ

上達の近道で
一番重要！

英語の
極意

理科



協働を意識

合意形成
発表の場の確保

数学

① 授業の進め方

授業

授業形態

席ごとにU字型等形で授業を受ける。
教師が話をしている時は静かに聞く。
例題や問題の時には積極的に質問したり、教えあいをする。
※「話す・聞く」を意識した授業を目指しましょう。

① 授業の進め方

復習プリント

号をかけた後5分以内で取組みます。
今まで習った分野の復習プリントになっています。【5問】
答え合わせを全員で行います。
※復習をしっかりと。その場しのぎの学力ではなく、確かな学力になるようにしましょう。

① 授業の進め方

レポート

レポート学習のルール

- 個人ですること
- 教科書を見てもよい
- ノートを見てもよい
- iPadを活用してもよい

レポート学習の評価

Very good…全問正解
A…1～2問間違え
B…3～5問間違え
C…5問より多くの間違え
※返却後
何度でも提出 OK
全問正解になれば
【評価をGoodに上げる】

① 授業の進め方

ミニ授業

週の最後の授業は「ミニ授業」をします。
指定されたページを班で役割を決めて「授業」をして理解する時間とします。
※全員が分からないときは教師に相談してください。

ミニ授業のルール

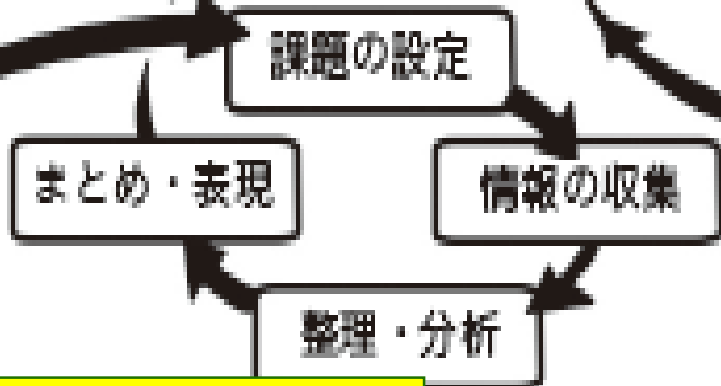
- 班で活動すること
【全員が理解できるようにする】
- 学ボードを活用してもよい
- iPadを活用してもよい

ミニ授業の評価

- 個人個人でプリントを提出し、評価する。
- 班で役割を分担し頑張れているかを評価する。

合意形成
発表の場の確保

生徒による
ミニ授業



2 具体的実践： 「総合・特活」

読み聞かせ



演劇的な手法を
取り入れた発表



キッズ防災・減災教室



みやづ産業フェスタ

体育祭の感想



自分は、周りの人との交流を大切にして、分からないところを聞いたり、場所が分からない人に教えてあげることができた。

競技では、ペアの人と作戦を立てて、実行することができたし、学年を超えて交流することができた。

全体としては、賞は取れなかったけれど、ブロックやクラスの団結力を高めることができたし、ブロック全員で真剣に体育祭をできたのでよかったと思う。

スキルアップの時間 (10分の活用)



- お互いに考えを共有し、交流したことで、新たな発見や考えが見つかった。
- 班で協力しつつ、声を掛け合うことができた。考えたことを伝え合えたので、うまく積み上げることができた。

3 実践の成果

取組に対する感想

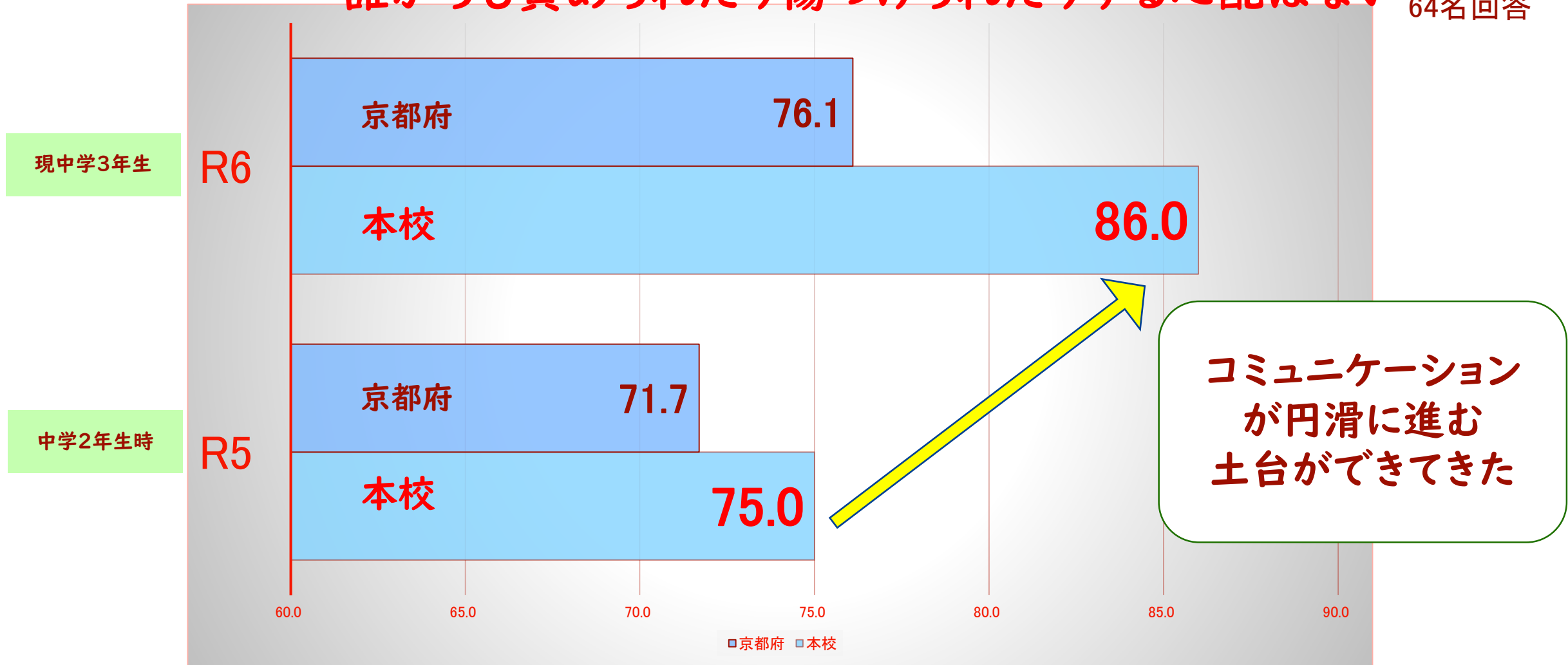
演劇的な手法を用いた発表について

- どのような演技をすれば、相手の興味をひきつけ、分かりやすく伝えられるか考えながらできた。
- 主張したいところを伝えるためにはどのように演技すればよいか、声色をどうすればよいか、考えながら演じることができた。



普段の生活の中で、**自分がみんなとちがう意見や本当の気持ちを言っても、**

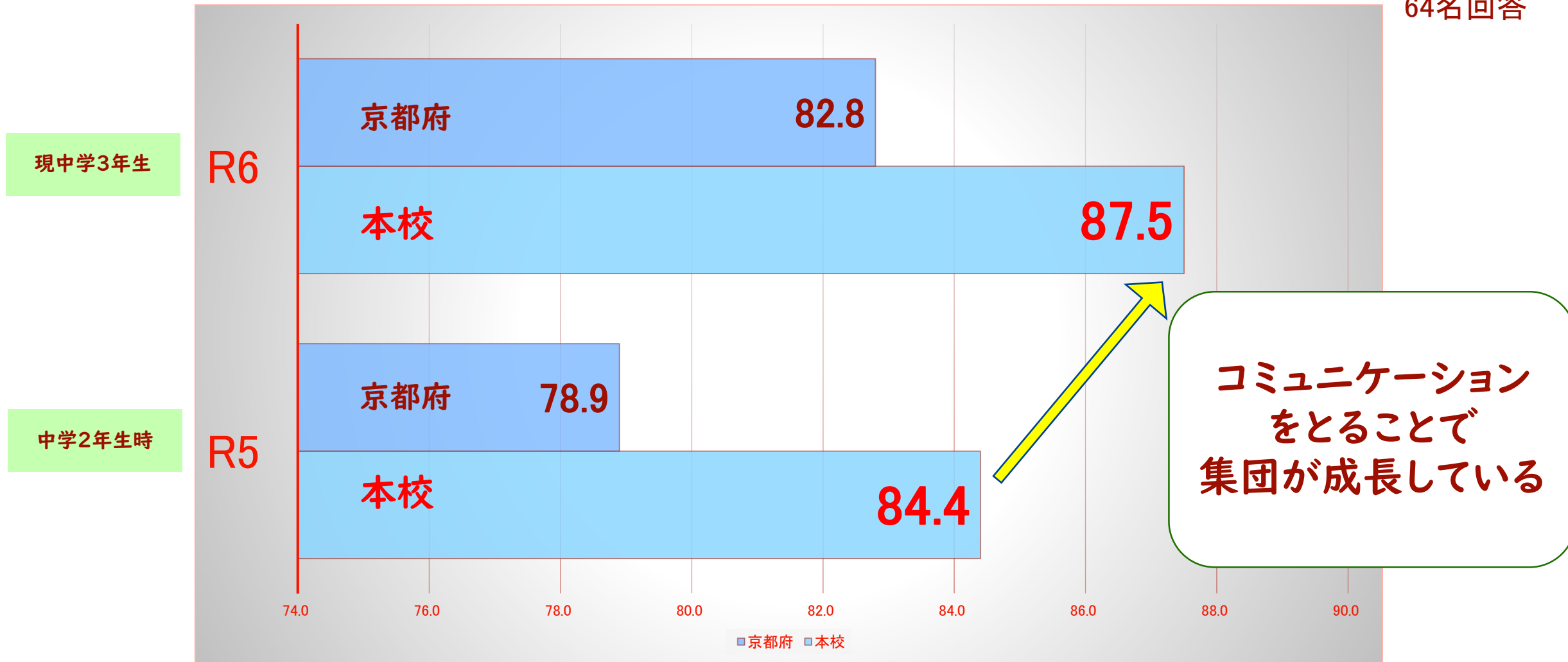
誰からも責められたり傷つけられたりする心配はない 64名回答



コミュニケーション
が円滑に進む
土台ができてきた

普段の生活の中で**起こったトラブルについて、**
話し合える雰囲気がある

64名回答



終わりに

切れ目のない「学院」としての
コミュニケーション教育を。





ありがとうございました

Thank you for listening